



令和7年度 生徒課題研究発表大会を実施しました！

7月4日横須賀市文化会館にて生徒課題研究発表大会を実施しました。今年度から「大会ポスターの作成」、「他校（厚木高校・横浜緑ヶ丘高校）の発表」、「優れた研究グループへの表彰」の新たな試みを実施しました。今回は受賞者、SSH 正副委員長、ポスター作成者に感想を聞きました。以下は受賞グループと研究タイトルです。

【朋友会賞】「トレッドミル上での走行において腕の振り方が筋電と角速度に与える影響の調査」

永井 咲弥さん、矢島 ひよりさん、小林 令奈さん

【学校長賞】「メイクと幸福度の関係性」

塩田 彩乃さん、渡邊 清美さん、安藤 優花さん、岡本 弥子さん

【審査員特別賞・SSH 特別賞 ☆W 受賞☆】「横須賀市前田川の魚類相」

作田 悠太郎さん

この度はこのような賞を頂き、とても嬉しく光栄に思います。

私たちの研究は誰もが身近に感じられるであろう『走る』という動作においての腕振りに関するものです。少しでも多くの方が私たちの発表を聞いて、走ることや運動について興味関心を抱いてくれたらとても嬉しいです。今回の質問やご意見を参考にし、今後に活かしていきます。

3年6組 永井 咲弥



この度はこのような賞をいただき、大変光栄に思います。私たちは、自由にやりたいことができる校内研究という立場で「メイクと幸福度の関係性」についての調査を行いました。専門機関等の協力なしに満足のいく研究ができたのは、メンバーの団結力や、守田先生をはじめとする先生方のおかげです。ありがとうございました。

3年5組 岡本 弥子

1年間の研究の成果がこのような素晴らしい賞を賜ることになり、大変嬉しく思っています。今回の発表を通じて、生徒の皆さんに三浦半島の自然環境の豊かさを少しでも実感していただければ幸いです。受験も控えてはいますが、今後も可能な限り調査を継続し、研究を行っていきたいです。

3年6組 作田 悠太郎

先輩方の貴重なお話を聞いて、とても参考になると思ったところが多く感じられました。例えば、発表の内容、スライドの作り方、見せ方など3月にあるポスターセッションのお手本のような発表をしていただきました。今回の生徒課題研究発表を活かして、自分たちも今より一層良い発表ができるようにしていきたいと改めて感じました。

SSH 委員長 2年3組 近江 直慧



今回、印象的だったのは、少人数発表が多かったことだ。緊張感のある現場で自分のやってきたことに自信を持ち、自分の言葉に責任をもつ、これは少人数では、より大変で覚悟のいることだろうと私は思う。だからこそ、先輩方の堂々たる姿は輝いていて、私もいつかあの舞台に立ちたいと感じた。

SSH 副委員長 1年1組 横山 紗奈

作成当時、僕は先輩方が何に関しての発表するのか全く知らなかったもので、実験器具や白衣などから、科学、とくに実験をモチーフとしてキャラクターを作成しました。科学をよく知らない子供たちにも参加してほしいという思いから、遠近法の強調による引き込みを意識しました。科学のワクワク感も伝わればいいなと思います。

ポスター作成者 1年4組 岡田 悠志